

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	30
施設名	葛飾区南鎌倉保育園
施設所在地	葛飾区鎌倉1-7-3
法人名	葛飾区

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自分の体

<テーマの設定理由>

普段から運動遊びは大好きだが、自信がなくて「できないからやらない」としり込みする子も少なくない。楽しく運動しながら自分の体を意識することでさらにやる気生まれてくるようにするにはどのように対応していけばよいかを考えてみたい。

2. 活動スケジュール

①5月29日～6月16日の期間に3回、3～5歳児クラスで運動遊びのメニューを行う(事前に立ち幅跳びをそれぞれ計測しておく)
②9月8日～9月19日の期間に4回、2～5歳児クラスで運動遊びのメニューを行う。
③1月28日・30日の2回、2～5歳児クラスで運動遊びのメニューを行う。(できれば子どもとの振り返りの時間をとる・立ち幅跳びの計測をする)
運動メニューは職員の動きに合わせてまねっこ遊び・ボールキャッチ・ケンパ・フープ遊び・鬼ごっこなど、子どもの興味に合わせて進めていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

体を動かせるようなスペースを準備。

道具：ボール・ラバーフープ・フープ・三角コーンなど

人的環境面でも、子どもがやりたいと思ったときにタイミングよく声をかけることを大事にした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

いろいろな動きがたくさん経験できるように、1回30分を目安に5種類くらいの運動遊びを取り入れていく。運動メニューは職員の動きに合わせてまねっこ遊び・ボールキャッチ・ケンパ・フープ遊び・鬼ごっこなど、子どもの興味に合わせて進めていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

1回目：はじめはよくわからないような表情だったが、「真似をする」ということで思い思いの真似ができて「たのしい!」「もういちどやりたい」という声が大きく、あっという間に時間が過ぎた。2回目以降は1回目の積み重ねがあるので見通しを持てる子どもが多く、意欲的に行える。

2回目：1回目で楽しいことが分かっている子どもたち。話をよく聞いていて、真似をしながら体を動かすのが上手になっている。3歳児で初めてのことが苦手な子がいるが、1回目のボール送りをクラスでも引き続きやってくれていたこのゲームだけは自信を持って参加できていた。また、協力して運動を進めていく姿がある。

3回目：行った後に子どもたちに「自分の体」について聞いてみた。「たくさん飛べるようになった」「ボールをとるのが上手になってドッチボールが楽しくなった」「なんか体が伸びた感じ」などいろいろな言葉が出てきて、子どもたちから意見が出るたびに聞いている子どもも大きくうなずいている姿が見られた。年度初めと3月に幅跳びの計測を行ったが、それぞれ大きく記録アップし、4・5歳児クラスは自分の記録を見比べて「すごくたくさん飛べてる〜!」と喜ぶ姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

初めてのことに苦手意識を持つ子どもたちが多いものの、見ているうちにやりたい気持ちになってきたり、実際に次からは自分から活動に参加している様子を見て、子どもにとっての魅力的な動きや心が動く活動を考えて保育につなげていかなければならないことがよく分かった。「子どもたちの心が動く」活動をすることで、実際に子どもたちも自分の成長に気づくことができていたのは、とてもよかったと思う。保護者にも幅跳びの計測結果を共有しており、「継続して行うこと」の大切さを感じてくれている。